山野草園だより

発行
2023年(令和5年)
4月1日（土）

ようこそ　山野草の楽園へ

オゾンをいっぱい吸って　山野草を観賞

3月30日以降に見られる山野草の一部を紹介します。

園内がいい感じになってきてます！

いらっしゃいませ。園内はミスミソウ満開、カタバミも咲いてみれば白、ピンクとあちこちに可憐な花をみせて、咲き誇っています。

前回紹介のミズバショウもかなり開いてきました。園内にはびこって大変なシラユキゲシもこれから真っ白な花を咲かせて園内を賑わせてくれることでしょう。

三日坊主と言われる山シャクヤクの白も今年は昨年以上に数を増やしています。写真のようにもうつぼみを貯えていますし、この後次々と優しい花をさかせてくれ、来園者の皆さんの目を楽しませてくれると思います。

赤のヤマシャクは1ヶ月近く後になると思われます。

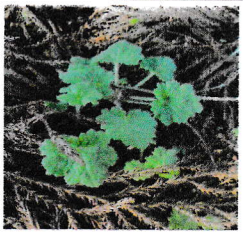
これも人気の花のひとつです。ぜひ時期を逃さずお出でください。

四国カッコソウ

四国カッコソウも青青とした葉を覗かせて来ました。開花するのが楽しみです。カッコソウは白とピンクの2種類のものが咲きます。お楽しみ下さい。

四国カッコソウは四国固有種で愛媛、香川、徳島県に産するそうです。愛媛県では希少植物に指定されいます。

当地でも相性がよく可憐な花を咲かせてくれてます、大事にしたいです。



イワカガミ

イワカガミは北海道から九州の山地帯から吾高山地帯にかけて生育する多年草の草花です。

イワカガミの花言葉は「忠実」です。ご夫婦で愛でられるとよろしいかと！

ヤブレガサ

ヤブレガサは本州から九州の山地に生える。丈は50cm～120cmになる。落葉広葉樹林のやや渇いた場所に見られる。若葉が写真の如く綿毛に覆われて愛らしい。

大きく育つと丁度傘がバラバラに破れた形に見えるところからこの名前ついたといわれる。

わさび

山野の谷水特に清流のあるところ等によく育つわさびである。通称「葉わさび」といわれており、市販されるている「根わさび」とは異なる。根は根わさびほど大きくはなく、若葉を取ってきて、食用にされる。葉っぱは食すとかなり辛い。

その花が写真である。山野草園にも植えてあるので、ご覧下さい。

キンギョツバキ

キンギョツバキは突然変異によって生まれたヤブツバキの園芸品種。葉の先端が金魚のしっぽのように3つに分かれたユニークなツバキ。赤や白、ピンクなど各種ある。

独りごと

先代の服部導人さんが手がけられ25年間で2haの山野を整備、多種多様の山野草を育成されてこられましたが、先代は昨年逝去されました。寂しい限りです。

後を受けてがんばって行こうと思いますが、小生も後期高齢者何処までやれるやら？

来園者の皆さんが楽しみにしておられる気持ちとかわいらしい山野草を愛する哲学を抱いておられる限りは頑張らねばと思う今日。

吾や先き、人や先きの無常の世界、もう一踏ん張り頑張りますかね。